



国民の森林・国有林

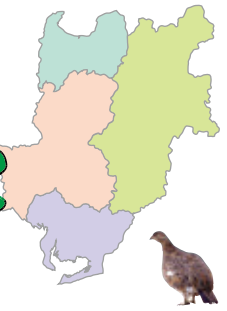
林野庁
中部森林管理局

〒380-8575長野市大字栗田715-5
☎050-3160-6513

<http://rinya.maff.go.jp/chubu/>

広報

中部の森林



5月号

メールマガジン登録で本誌記事や観光情報のデジタル版を毎月お送りします。
登録サイト：<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



麒麟がくる舞台「岐阜城とツブラジイの花」(岐阜森林管理署)

主な項目	○ 本局のトピックス (中部森林管理局事業概要～令和2年度の取組のポイント～) … P1
	○ 各地からのたより (守れ!岐阜城～金華山山火事防護訓練～ほか) …… P3
	○ 森林のお仕事紹介コーナー ・「森林官からの便り」(北信森林管理署 水内森林事務所) …… P5
	☆ 新シリーズ「お役に立ちます 国有林」第1回 ・Googleストリートビューを用いた観光資源の紹介(木曾森林管理署) …… P6
	☆ 新連載「木曾式伐木運材図会」の解説(第1回拡大版) …… P7
	○ シリーズ「ご当地自慢」(南木曾支署「中央アルプスと越百山」) …… P9
	○ 各地からの花だより/編集長だより …… P10

イ 林業の成長産業化への貢献

◇徹底的なコスト縮減と生産性向上◇

- ・平成27年度から取り組んできた「生産性向上実現プログラム」の成果を管内の林業事業体に普及し、素材生産能力の高い事業体の育成に取り組みます。
- ・伐採・造林一貫作業システムや、主伐時に発生する末木枝条等の木質バイオマス発電所等への販売、機械地拵えにより、造林にかかるコストの縮減に取り組みます。
- ・ドローン、地上型レーザースキャナ、デジタルレーザーコンパス、デジカメ検知システムといった新たな機器を試行的に活用し、事業実施に必要な各種調査（収獲調査等）の効率化を推進します。



ドローンの活用

◇木材の安定供給とブランド材の推進◇

- ・高齢級で高品質な人工林ヒノキを「**高**木曾ひのき」、**高**東濃ひのき」や「段戸SAN」として、また、民有林と連携して「信州プレミアムカラマツ」を積極的に供給します。
- ・需要者の要望に応じた特殊な寸法や品質の木材供給に取り組みます。



「高木曾ひのき」

◇民有林と連携した取組◇

- ・昨年度より始まった「森林経営管理制度」の推進に向け、市町村で活躍できる「意欲と能力のある林業経営者」の育成に取り組みます。森林施業共同団地の設定や民有林材との協調出荷、現地検討会の開催等による民有林関係者への技術の普及や、自治体への助言等に取り組みます。
- ・また、国有林の一定区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期間・安定的に樹木を採取できる権利を「意欲と能力のある林業経営者」に設定する「樹木採取権制度」の実施に取り組みます。

デザインコンベンション
(MIDORI長野りんごのひろば)

ウ 「国民の森林」としての管理経営

◇国民参加の森林づくり◇

- ・天皇陛下御即位記念慶行事の一環である分収造林契約による森林づくり等に、企業やNPO等と取り組みます。



分収造林を契約した企業の社員による植樹イベント（東信署）

◇レクリエーションの森◇

- ・「国有林おさんぽMAP」の活用等により、国有林を通じた地域の観光振興に取り組みます。

◇地域住民等への情報の提供◇

- ・地域住民の方々に国有林をより身近に感じてもらうための取組として、各署等において国有林の各種事業の現地見学会を開催します。



生産事業の現地見学会（東濃署）

中部森林管理局の事業概要（令和2年度の取組のポイント）

新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が発令されている状況ではありますが、国民の皆様からお預かりしている国有林野の公益的機能の発揮とともに、地域の雇用の下支えの観点からも、計画的な事業の発注が求められております。中部森林管理局としましては、感染症対策を徹底しつつ、事業の円滑な実施を最優先に行う体制にシフトし、業務を継続してまいります。

（1）主要事業量

事業量（県別）

		単 位	富山県	長野県	岐阜県	愛知県	合 計
保 育	新植、植付	ha	—	202	81	25	309
	下刈、つる切等	ha	—	594	243	82	919
収 穫 量	間 伐	ha	38	2,364	1,019	269	3,691
	主 伐	千㎡	0.1	149	153	35	336
	間 伐	千㎡	6	390	222	40	659
	計	千㎡	7	539	375	74	995
製品生産量		千㎡	2	184	70	20	275
立木販売		千㎡	0.9	159	190	32	381
林道事業	新 設	km	0.5	6.6	1.8	0.7	9.6
治山事業	溪間工	基	3	71	21	7	103
	山腹工	ha	2	33	8	0.1	43
	地すべり防止工	ha	—	196	—	—	196

※事業量は、項目毎小数点以下四捨五入により、計が合わない場合があります。

※立木販売には分収育林及び分収造林を含んでおり、分収契約者の意向等により変更する場合があります。

（2）重要な取組や新たな試み

ア 公益的機能の一層の発揮

◇多様な森林への誘導◇

- ・主伐時の有用広葉樹の保残等により、針広混交林等の多様な森林づくりを推進します。



広葉樹の保残

◇安全・安心への貢献◇

- ・令和元年東日本台風（台風第19号）により被災した森林の緊急的な整備を実施します。また、「国土強靱化緊急森林対策」への取組として、集中豪雨等に対する山地防災力を高めるため、治山施設の設置等による荒廃山地の復旧・予防対策、流木対策を集中的に実施します。
- ・大規模な山地災害が発生した際は、国有林の有無にかかわらず、県や市町村等とのヘリコプターでの合同調査や森林土木技術者の派遣等により、被災地の早期復旧に向けた支援を行います。



ヘリコプターによる被災状況調査

◇ニホンジカ被害対策◇

- ・くくりワナの貸し出しによる捕獲圧の強化や、平成30年度から試行してきた請負事業体と猟友会が連携した「ついで見回り・通報」「ついで捕獲」を本格実施し、地域ぐるみのニホンジカ対策を推進します。
- ・ワナ捕獲遠距離通報システムなど、ICTを活用したワナ見回りの効率化に取り組みます。



請負事業体職員による
猟友会員の案内（南信署）

守れ！岐阜城

（金華山山火事防護訓練）

【岐阜森林管理署】

二月二十七日、金華山国有林において、林野火災総合防護訓練が行われました。

この訓練は、岐阜市民の憩いの場であり、国史跡に指定されている岐阜城跡一帯及び国登録有形文化財岐阜公園三重塔を林野火災から守るとともに、入山者の安全確保を図るため、各関係機関の緊密な連携のもと、迅速的確な防護活動及び避難誘導を実施することを目的としています。



岐阜城付近での訓練の様子

訓練には、岐阜市消防本部、岐阜県防災航空隊、岐阜観光索道を始めとする関係機関に岐阜森林管理署消火班（ジェットシューター隊）も加わり消火訓練を行いました。

特に今年度は、沖縄県の首里城焼失があつたことを受けて、文化財への延焼を防ぐことを主に訓練が行われました。

このような訓練を続けることで万が一への対応、備えが図れることは大変意義深いものと考えています。



放水訓練の様子

列状間伐に関する

意見交換会を開催

【飛騨森林管理署】

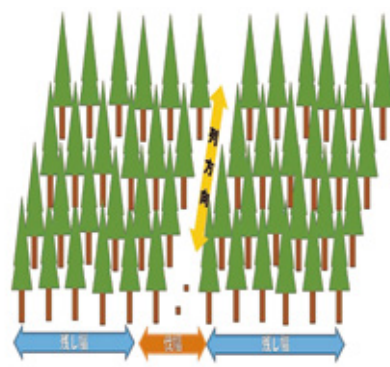
二月十八日、署会議室において、「列状間伐における意見交換会」を林業事業体、飛騨農林事務所、名古屋造林素材生産事業協会、現場で監督業務を行う森林官の出席により開催しました。

この会議は、近年、自然災害が多く発生する中、森林の整備に対する国民の目が今まで以上に森林・林業に向けられていることから、間伐という施業の基本を再認識しつつ、間伐の効果、作業の効率化、安全対策などの情報交換を行うことを目的としています。



マツ谷国有林の列状間伐の様子

会議では、各林業事業体が列状間伐の列の設定方法、伐倒方法・造材方法等について、発表した後、意見交換を行いました。



列状間伐の手法（A社）

質疑では、列がそろわない場合、作業道等の中で林地が狭い場合など列状間伐が難しいところは、定性間伐をしている。また、残幅は、二十年間、手が入らず、特に形質不良木は見た目が悪い等、現場の生の意見が多く出されました。

飛騨署としては、現地に合わせた間伐方法や作業路作成等を指導するとともに、国民の皆様から預かった国有林を次世代により良い森林として引き継ぐため、今後林業事業体と連携しながら施業を進めていく考えであります。

〈各地からのたより〉

おうたきむらせとがわ
王滝村瀬戸川・

森林体験フィードルの整備

【木曽森林管理署】

三月、王滝国有林東俣地区において、造林歩道や森林鉄道の軌道敷を修繕した遊歩道や、六基の木製橋梁など、当区域の森林を巡る周遊コースが完成しました。

当該地域では、木曾ヒノキの美林や溪流が織りなす美しい景色を活用して地域振興につなげるために、平成二十九年度から三年間「森林林業体験交流促進対策」を実施しました。

これは、総務省、文部科学省、農林水産省が一体となり農林漁業の体験や宿泊体験を通じ力強い子どもの成長を支える事を目的とした「子ども農山漁村交流プロジェクト」の一つで、林野庁では森林体験フィードルの整備等を実施しています。

整備した、周遊コースには木曾ヒノキが多く林立し、むかし、伊勢神宮の式年遷宮の候補木となつた「大樹」を多く見ることができ、川沿いの散策や川遊びができる場所もあります。

また、王滝村には、高山帯の四季折々の景色とともに、御嶽山を望める木曾御岳自然休養林や、昭和五十九年の長野県西部地震から森林に復旧した濁川、伝上川の森林があり、これらの森林を同一エリアで体験・見学することで、生態系の違いや森林の公益的機能、自然災害の脅威等の学習ができます。

今年度からは、王滝村で設立された「王滝やまのこ学校」が主体となり、プロジェクトを進めていく予定になっています。

今後たくさん子どもたちが王滝村の森林を学習体験し、森林への理解を深め、たくさんの方が王滝村を訪れて豊かな森林や自然を楽しんでいただければと思います。



今回整備された、6号橋梁の様子

ちさん
治山・林道事業の円滑な実施に向けて、森林土木担当者会議

【岐阜森林管理署】

一月九日、岐阜森林管理署会議室において治山・林道関係の担当者として、今年度、当署が発注した工事を実行した事業者の現場代理人等技術者との担当者打合せ会議を開催しました。

この会議は、平成三十年豪雨災害の復旧事業や緊急インフラ三年対策に伴う特別枠予算措置による公共事業全体の事業量が大幅に増加している中、建設業における技術者不足などによる入札不調が発生していることや、設計変更等の手続きについて、現場実務者レベルで意見交換の場を設けて貰いたい、といった要望が業界からあったことから、今年度事業のほぼ完了したことを踏まえ事業の振り返りと労働災害を防止するための安全会議も併せて開催しました。

当署においては、今年度発注した二十九件の治山・林道工事のうち二件が入札不調となつています。会議では、請負事業者十二社

の現場代理人等二十九名と署の担当者二十六名が対座し活発な意見交換を行いました。

事業者からは、「森林土木技術者の高齢化、担い手不足は深刻な状況」、「数年前に二日でできた仕事は倍以上の日数が必要」、「歩掛・実勢単価の反映を」といった要望や「働き方改革で有休が多くなつた中、監督員等の予定が一ヶ月先まで情報していただいております」といった感謝の言葉がありました。



分解した重機をヘリコプターで搬入する様子

栄村は、日本有数の豪雪地帯であり、事務所から徒歩五分のJR

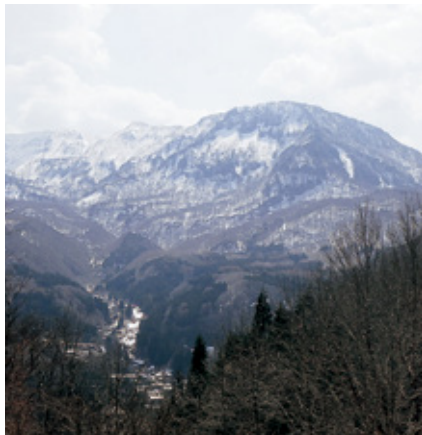


積雪日本一標柱

【北信森林管理署 水内森林事務所】
水内森林事務所は、長野県の最北端に位置する下水内郡栄村に所在し、管轄する国有林野は、村内を流れる千曲川を挟んで分かれており、北側には野々海高原がある中山峰国有林と豊栄山国有林。南側は秘境・秋山郷がある赤石沢国有林、鳥甲国有林、下高井郡山ノ内町の岩菅国有林を含む約一七、一六八ヘクタを管理しています。



国有林と言えば現場、現場と言えば森林官！しかし、一般の方には余り馴染みがないと思います。そこで各地にある森林事務所や地域の特徴、森林官の仕事などを紹介していきます。



苗場山と小赤沢集落

森宮野原駅には、当時としては日本一の最高積雪地点(昭和二十年積雪七・八五メートル)の標柱が建っています。しかし今年は、全国的な暖冬の影響もあり積雪量が例年よりかなり少なく、地元の方に聞いても、こんなに降らないのは珍しいと言っていました。管内の国有林は、比較的緩やかな林地に人工林スギ・カラマツが多く、奥山はブナを主体とした広葉樹林となっています。管内には、日本百名山に選定されている苗場山があります。登山道は途中に、岩場や鎖場等の手ごわい場所もありますが、九合目から山頂までは平らな地形が続き、そこには高層湿原が広がり、大小様々な池塘と豊富な高山植物に出会えます。

当森林事務所は森林官一人で、生産等請負事業の監督、境界巡検・巡視、各種調査などの業務に取り組んでいます。業務を効率的



あまいけと鳥甲山
天池

対岸の鳥甲山は岩肌が荒々しく巖かで、苗場山とは対照的な山容を見せています。新潟県・群馬県に跨がる国有林は、佐武流山周辺森林生態系保護地域に設定され、日本海側の森林植生から太平洋側の森林植生への推移帯にあたる原生的な森林の生態系を自然環境の維持、動植物等を保護、保存しています。



事務所前で！筆者

■未来の担い手へのメッセージ
今まで勤務してきた事務所の国有林には、奥地まで先人の育てた造林地があります。その貴重な造林地を整備することは、次世代につながる森林づくりに貢献しているとやりがいを感じます。先人の森林を若い皆さんで、さらに後世につなげていってほしいと思います。

中部森林管理局では、森林の公益的機能の発揮や林業の成長産業化に向けて様々な取組を行っています。その中から民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様に参考にしていただけたら幸いです。

また、当局ホームページにおいてもこれら事例を紹介しています。

詳細は、QRコードを読み込んでください。



新シリーズ

お役に立ちます
国有林

民有林行政、林業や森林土木事業に携わる皆様へ

Googleストリートビューを用いた観光資源の紹介

1. ねらい

優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察等に適した「レクリエーションの森」を観光資源として紹介するため、パソコンやスマートフォンでも利用できるGoogleストリートビューを活用しました。

2. 概要

Googleストリートビューは、世界中の道路添いの風景をパノラマ写真で見ることのできるインターネットサービスで、「トレッカーパートナープログラム」に参加すると、撮影機材の貸し出し、撮影方法の説明、プライバシー保護のための画像処理、ストリートビューでの公開といったサービスを、Googleから無料で受けられます。

今回は、木曽の森林の魅力や見所、ストリートビューの利用方法を伝えてプログラムに応募しました。採用された後は、森林管理署の職員がストリートビュー専用カメラを背負って、管内で観光資源として利用されている国有林4箇所、合計23kmの遊歩道等を16人工で撮影しました。

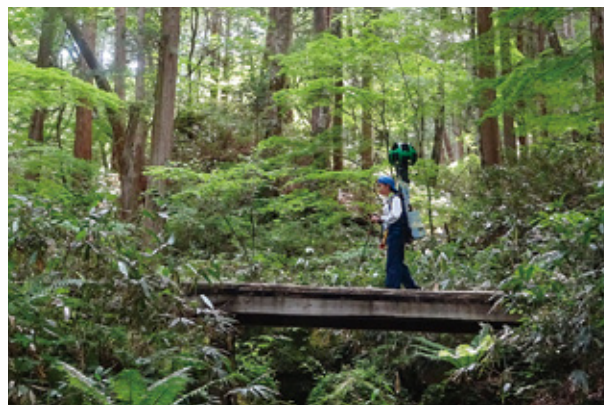
公開された画像はGoogleマップから簡単にアクセスできますが、署のHPにも組み込み、森林・林業の歴史や文化とともに地域の見所として紹介しています。

3. 成果

発信した情報が、個人のSNSや地元観光協会のHPに組み込まれるなどの形で広がり始めています。

現地に足を運ぶことが難しい人たち、世界中のユーザーに、木曽谷の自然景観を届け、当地域の情報を発信しています。

また、撮影された箇所には非常に貴重な森林も含まれ、森林の状況を記録することで、将来的に資料的価値が高くなると考えられます。



ストリートビュー専用カメラを使った撮影の様子

4. 問い合わせ先

木曽森林管理署
電話 0264-52-2083



グーグルストリートビュー(左)及び、ストリートビューを活用した木曽谷の森林や林業の歴史(右)を紹介しているサイトは、QRコードを読み込んでください。



新連載

「木曾式伐木運材図会」の解説

（第一回拡大版）

中部森林管理局技術普及課

井上 日呂登

「木曾式伐木運材図会」の概要

中部森林管理局に所蔵されている「木曾式伐木運材図会」は江戸時代後期頃の木曾地方や飛騨地方で行われていた、古い、機械化される以前の伐木運材の様子を描いた二本の絵巻物です。「図会」というのは絵を集めたもの、合わさったもの、という意味になります。昔の資料では「図絵」と書かれている場合もありますが、意味はおおよそ同じです。



木曾式伐木運材図会

「木曾式伐木運材図会」では、

山奥の木を調査し、切り出すところからはじまり、山から谷に下ろして、川に流して、市場である名古屋まで、木材を運ぶ様子を描いています。絵にすると上巻二十点と下巻二十一点になります（繋がっている絵もありますので、数え方によって総数は多少前後します）。絵のサイズとしては上巻で長さ十メートル、下巻で長さ十三メートル、幅はそれぞれ四十センチメートルになります。

「木曾式伐木運材法」について

自動車も鉄道も無かった時代、木曾川上流の木曾や飛騨の深い山奥から伐採した木材を、下流の名古屋や江戸の市場に運び出すのは大変な労力が必要でした。人あるいは牛馬で陸路を運ぶのには大変なコストがかかりました。そうした中で、様々なしか

けや工夫をほどこして、山奥から谷へ木材を下ろし、沢の水や川の流れを利用してなるべく少ない労力で運ぶ方法が徐々に確立していききました。こうした方法が固まったのが江戸時代前期だと考えられています。



こうした機械化される以前の伐木運材技術を明治時代頃から総称して「木曾式」「木曾流の運材法」「木曾式伐木運材法」などと呼ぶようになりました。これが「木曾式伐木運材図会」という題名の由来となっています。とは言え、これらの技術が木曾や飛騨のまったくのオリジナルのものであったかというところでもありません。江戸時代以来、木曾での伐木運材には当時の林業先進地であった近畿や四国、あるいは富山から林業技術者や出稼ぎ労働者を受け入れていました。木曾の山林で働いていた人で、生まれも育ちも生粋の木曾の人は半分にも満たなかったのではないかと、という研究もあります。後世で言われるところの「木曾式伐木運材法」は日本各地からの人員・技術を集めた、総合的なものであったと考えるべきだと私は思っています。





昭和2年建築のアル・デコ様式の
帝室林野局木曾支局庁舎の当時の写真



国立国会図書館所蔵「官材画譜」より

「木曾式伐木運材図会」の由来

「木曾式伐木運材図会」の作者、作成時期、作成目的等については、それらを明らかにする添え書き、文献等が見つからず明らかではありません。昭和初期の時点で、中部森林管理局の前身である帝室林野局木曾支局庁舎（現在の木曾町の「御料館」）の金庫に保管されていたことは分かっているものの、それ以前の経緯は伝わっていません。

従来の説では、江戸時代末期の飛騨国高山郡代役所の地役人富田礼彦という人がまとめたものと推定されていました。しかし近年では、一八五四年（弘化二年）に同じ飛騨国高山郡代役所の地役人であった土屋秀世という人が絵師の松村寛一に描かせて解説を付した「官材画譜」という作品をオリジナルとする、派生作品の一つではないかと推測されています。

明治時代の初期には日本国内の勸業博覧会や明治天皇巡幸などにあわせて、様々な類似の図会や版画が作成されており、木曾の官材についての説明資料や海外への寄贈品としても使用されていました。「木曾式伐木運材図会」はそうした一連の系譜に連なるものと考えられ、明治十一年代前後に作成されたのではないかと推測されています。

実は「木曾式伐木運材図会」という名前は後付けのもので、現在の絵巻それ自体には何も名前が書かれていません。昭和四十年代頃には上巻は「伐木事業一覽圖」、下巻は「材木流送圖」という名前が付けられました。もともと、これがオリジナルの名前なのかどうかも分かっていません。

とはいえ、現在の「木曾式伐木運材図会」が関連する作品の中でも、もっとも丁寧に描き込まれ、よい画材を用いて豪華につくられた、最上級の美品であることは間違いありません。お

そらくは、木曾の森林の大部分が宮内省帝室林野局の御料林であった時代に、「天覧」等のなんらかの特別な機会に、天皇や皇族に森林・林業に関する事業を説明するために視覚資料として制作が企画準備されたものなのではないかと推定されています。



※中部森林管理局では、この「図会」を保管し、それぞれの場面を切り取ったものを画像としてホームページで紹介しています。サイトは、QRコードを読み込んでください。

なお、木曾式伐木運材図会は、一般公開は行っていません。





新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、登山の自粛が要請されています。この要請が解除された後にお楽しみください。

大桑村を含む十三市町村にまたがる中央アルプスは、令和二年三月二十七日に中央アルプス国定公園として指定されました。令和初、全国で五十七番目、県内では四番目となる国定公園の誕生です。

木曾谷と伊那谷に裾野を広げ個性的なピークを連ねる中央アルプスは、花崗岩質の白砂とハイマツや高山植物に彩られ、風化作用による独特の岩峰など訪れる人を魅了します。

大桑村からは、越百山、南駒ヶ岳、空木岳へ向かう三つの登山道の玄関口となる伊奈川ダム上



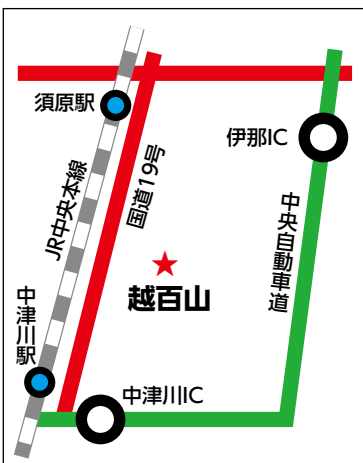
岩出観音堂の紅葉

登山口があります。登山口のある伊奈川溪谷には、中央アルプスの山々を源流とする伊奈川が断崖を縫うように流れ、村の中央を流れる木曾川に注がれます。近年では紅葉スポットとして密かに人気を集めています。また、伊奈川下流域にある橋場地区には、江戸中期に建立され、京都清水寺に似た懸崖造りの岩出観音が出迎えます。この観音堂は「溪斎英泉の木曾六十九次「伊奈川橋遠景」」に描かれており、春には桜が咲き誇り、秋には大木のカエデの紅葉が目を惹きます。



越百山頂上から稜線沿い

越百山 「越百山」は、標高二、六一四メートルの日本二百名山にも選定され、木曾駒ヶ岳を結ぶ縦走ルートとして設定されることも多く、道中は大桑村の花、しゃくなげや時折見える御嶽山を横目に眺めながら登頂することができます。国定公園化による知名度の向上で利活用が増える一方、自然保護への対応が必要であったことから



◆越百山へのアクセス
所在地：(伊奈川ダム上駐車場を利用) 長野県木曾郡大桑村大字須原字八丁
【公共交通】JR中央本線須原駅からタクシーで三十分(一五キロメートル)
【自動車】中央道伊那ICから車で一二〇分(六五キロメートル)、中津川ICから車で九十分(四七キロメートル)
※伊奈川ダム上駐車場までの通行については、大桑村観光協会へお問い合わせください。
電話：〇二六四―五五―四五六六



しゃくなげの尾根

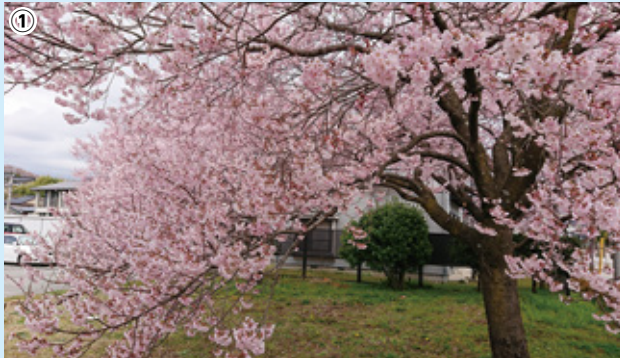
各地からの花だより



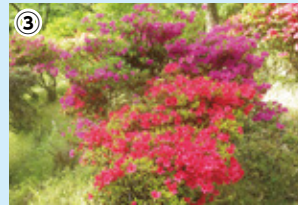
富山署：まるで絵画のような「チューリップ」

新緑の季節を迎え、中部局管内には、たくさん色とりどりの花が咲いています。ここでは、各森林管理署等が、現場へ調査等に行った際に撮影した、今が旬の花を紹介させていただきます。

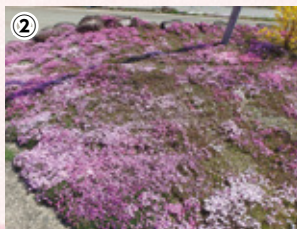
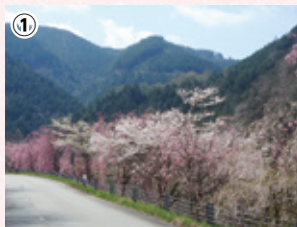
※自然保護の観点から撮影場所を掲載していない場合がありますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。



南信署：①庁舎前のタカトウコヒガンザクラ
②ヤマブキ③ツツジ④ヒトリシズカ



名古屋事務所：ヒトツバタゴ



飛騨署：①シダレザクラ
②シバザクラ



木曽ふれあいセンター：
①ササユリ②カザグルマ
③ヤマシャクヤク

編集長だより

(中部の森林への投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

新型コロナウイルスの影響で、「不要不急の外出」の自粛が呼びかけられて、不安やストレスを感じる日々が続いています。

一献傾けながら、仲間内での語り…で、ストレスを発散していた、私としては、焼き鳥屋さんの煙が夢にもできそうなこの頃です。

「不機嫌は周囲にダメージを与える」との当局長の言葉があります。これは、業務や家庭生活を日々笑顔で送るよことの意図ですが、どうしても、ついつい、ストレスから眉間にしわを寄せ、口元がへ字になりがちなので、心の中でスマ〜イ〜ルと…言いながら、不機嫌を伝染させないよう実践しております。

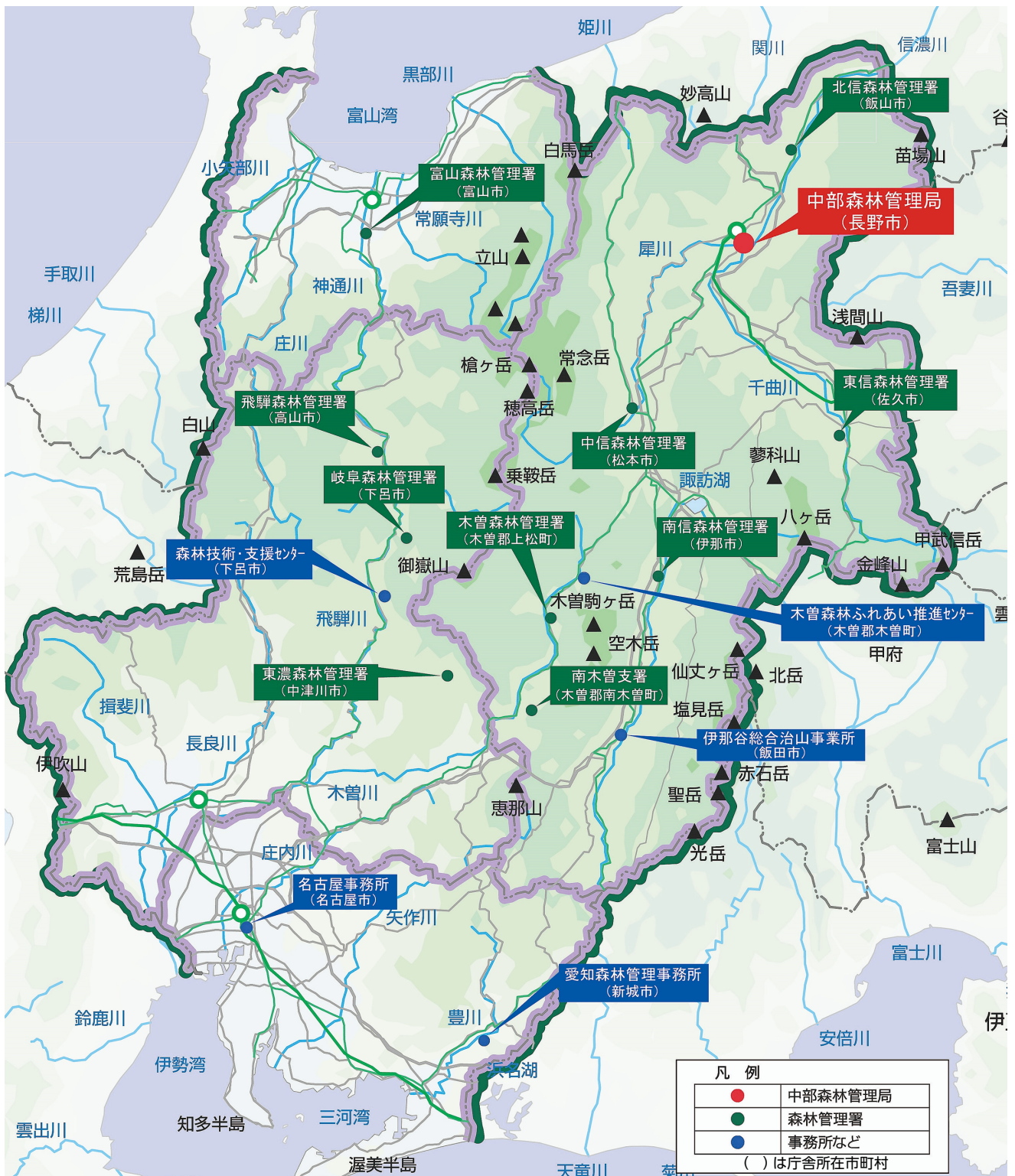
また、笑いは自律神経を整え、明るく前向きな気持ちを養い、免疫力を向上させることに役立つのだそうです。このことから、当職場では、「みんなで笑おう健康増進プロジェクト」として「ジョーク、川柳、なぞなぞ」などを用意し、ささやかながら、職員に、ほんのひとときでも声に出して笑ってもらえるような取組も行っております。(例：林の中で、出会った偉いひととて、だ〜れだ?)

(*^▽^*)リンカーン(林間)

編集部として、求む!

寝た子を起こす楽しいネタ!や、ネコがキャットと驚くネタ!をお寄せいただければ、次回以降に掲載させていただきます。

最後に、来るなウイルス!お粗末様でした。



お問い合わせ先 中部森林管理局 〒380-8575 長野県長野市大字栗田715-5 TEL 050-3160-6507 (代表) TEL 026-236-2721 (夜間・休日) FAX 026-236-2657

名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	FAX 052-683-9269
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	FAX 076-424-4934
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	FAX 0269-62-4144
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	FAX 0263-47-4754
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	FAX 0267-82-6959
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	FAX 0265-72-7774
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	FAX 0264-52-2582
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	FAX 0264-57-2686
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	FAX 0577-34-8932
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	FAX 0576-62-2503
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	FAX 0573-82-2109
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	FAX 0536-23-2254
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	FAX 0576-25-2420
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島1250-7	TEL 0264-22-2122	FAX 0264-21-3151
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	FAX 0265-22-0149